

2021年5月25日

マックスバリュ西日本株式会社

岡山総合プロセスセンター新設について

マックスバリュ西日本株式会社（本社：広島県広島市南区／代表取締役社長：平尾 健一）は、2021年6月より岡山総合プロセスセンターについての着工を開始いたしますのでご案内申し上げます。



当社は、お客さまの食に関わる満足度の向上を目指して、“旬・鮮度・おいしさ”にこだわる生鮮強化、産地や漁港からの直接配送など、自らが原料を調達、製造、販売を行う「サプライチェーン改革」に取り組むため、本州エリアの物流拠点であるイオン岡山LC（所在地：岡山県岡山市南区築港元町）の隣接地に岡山総合プロセスセンターを設立することとなりました。当センターは、岡山県大型投資・拠点化促進補助金及び、岡山市企業立地促進奨励金の認定を受け、多大なる協力をいただいております。

【岡山総合プロセスセンター特徴】

▼複合センターならではの、オリジナル商品の供給に努めます

当センターは、1階に水産・畜産それぞれのプロセスセンター、2階にデリカプロセスセンターを併設した複合センターを計画しております。併設することで、それぞれが製造する鮮度の高い素材を使用した独自の仕様・調味を施した、こだわりのオリジナル弁当や巻き寿司等の商品を製造することが可能になります。また、簡単・便利で時短調理が可能な半加工品や、完成品の店舗供給を実施することで、既存のプロセスセンターの設備ではできない、付加価値の高い商品・サービスを提供いたします。

▼一括製造を通して、店舗でのお客さまサービス向上を目指します

当センターにヒト、モノなど経営資源を集約し、既存スタッフの異動や500人以上の新規採用を行い、これまでの店舗製造を中心とした運営から、センターを活用した一括製造を実現いたします。一括製造した商品は、本州営業エリアのマックスバリュ、マルナカ約200店舗へ安定供給することができるようになり、昨今の人口減少の影響で、従業員確保が困難な状況になっている店舗での商品製造の負担を軽減し、これまで以上にお客さまへのサービス向上を目指してまいります。

【岡山総合プロセスセンター概要】

施設名：マックスバリュ西日本株式会社 岡山総合プロセスセンター

所在地：岡山県岡山市南区築港元町5

敷地面積：17,851㎡

延床面積：13,068㎡

建物構造：鉄骨造2階建て

着工開始：2021年6月

工事竣工：2022年6月（予定）

稼働開始：2022年9月（予定）

投資額：約53億円（予定）

（うち設備・機器 約19.3億円）

地・勘オーナー：DM三井製糖ホールディングス（株）

事業内容：水産品の加工、畜産品の加工、デリカ・惣菜の加工

供給商品：寿司、おにぎり、弁当、精肉、生鮮魚、水産加工品 他

供給店舗：兵庫県、岡山県、広島県、山口県のマックスバリュ、マルナカ、ザ・ビッグ約200店舗

新規雇用：約590名（予定）



【持続可能な開発に向けての取り組み】

当センターでは、持続可能な開発に向けて、下記を含めた様々な取り組みを実現してまいります。

■省エネに配慮した設備の導入

- ・高効率モーターや、インバーター導入機の採用
- ・LED照明、人感式照明の導入
- ・高効率ボイラー、コンプレッサーの採用



2015年以降
トップランナーモーターに切替



LED+人感センサーで
照明エネルギーを最小に

■3Rの促進

- ・ごみの分別の徹底
- ・在庫管理による無駄の削減
- ・資材、食品リサイクルの取り組み

■ダイバーシティの推進

- ・技能実習生の採用と労働環境の整備
- ・女性の労働環境の整備
- ・働きたくなる美しい職場
- ・マイノリティ（性的・身体的・宗教的）への対応



外国人労働者の採用と工場内表示の多言語化

SDGs（持続可能な開発目標）は、持続可能な世界を実現するために国連サミットで採択された2030年までの国際目標です。当社ではこの17の目標に向けて全社を挙げて取り組んでいます。右図の枠内が、当センターでの取り組みに該当いたします。



以上

【この件に関するお問い合わせ先】

マックスバリュ西日本株式会社 総合企画本部 広報部
石川・土居・佐久間 082-535-8516

